令和　年　月　日

広　島　県　知　事　　様

　　　　　　　　　　　　　　　（所在地）

　　　　　　　　　　　　　　　（事業者名）

　　　　　　　　　　　　　　　（代表者の役職・氏名）

障害者雇用優良事業所知事表彰への応募について

　このことについて、別紙のとおり応募調書を提出します。

別記様式１

障害者雇用優良事業所応募調書

(1)　県内の事業所の属する企業について

|  |  |
| --- | --- |
| ①　事業者名 | （ふりがな） |
| ②　所 在 地 |  |
|
| ③　代表者の  　　役職及び氏名 |  |
| ④　産業分類 | 業（産業分類コード　　　　　　　　　） |
| ⑤　主な事業内容 |  |
| ⑥　資本金 | 千円 |
| ⑦　創業又は  　　設立年月 | 年　　　　　　　　　月 |
| ⑧　障害者雇用率算定特例の認定の有無 | * 認定有　〔企業グループ算定特例　・　事業協同組合等算定特例〕 * 認定無 |
| ⑨　表彰歴及び  　　違反歴 |  |

※⑨について、表彰歴は年度を問わない。違反歴は過去５年間において労働関係法令違反等の事実により労働局から公表されたものを対象とする。

(2)　県内の事業所について

|  |  |
| --- | --- |
| ⑩　事業所名 | （ふりがな） |
| ⑪　所在地 |  |
| ⑫　代表者の  　　役職及び氏名 |  |
| ⑬　担当者名 |  |
| ⑭　部署名 |  |
| ⑮　電話 |  |
| ⑯　ﾌｧｸｼﾐﾘ |  |
| ⑰　電子ﾒｰﾙｱﾄﾞﾚｽ |  |

※⑩～⑫について、(1)と同じ内容の場合は記入不要。

(3)　特例子会社について

|  |  |
| --- | --- |
| ⑱　特例子会社名 | （ふりがな） |
| ⑲　所在地 |  |
| ⑳　代表者の  　　役職及び氏名 |  |

※⑱～⑳は、(1)の事業者が、特例子会社を有している場合に記入。

(4)　雇用状況について

|  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- |
|  | 当該年度を含め過去5年間の6月1日の状況 | | 年 | | 年 | | 年 | | 年 | | 年 | |
|  | Ａ　県内事業所の障害者である常用雇用労働者数（うち重度障害者数）　　注１、注２ | | | | | | | | | | | |
|  |  | ①　身体障害者数 | 人  （　　人） | | | 人  （　　人） | | 人  （　　人） | | 人  （　　人） | | 人  （　　人） |
|  |  | ②　知的障害者数 | 人  （　　人） | | | 人  （　　人） | | 人  （　　人） | | 人  （　　人） | | 人  （　　人） |
| 障 |  | ③　精神障害者数 | 人 | | | 人 | | 人 | | 人 | | 人 |
| 害 |  | ④　その他の障害者数　　注４ | 人 | | | 人 | | 人 | | 人 | | 人 |
| 者 |  | ⑤　計　（①+②+③+④） | 人  （　　人） | | | 人  （　　人） | | 人  （　　人） | | 人  （　　人） | | 人  （　　人） |
| の | Ｂ　企業全体の常用雇用労働者数 　　　　　　　　　　　　　　　　　　　注１、注２、注３ | | | | | | | | | | | |
| 雇 |  | ⑥ 常用雇用労働者数(短時間労働者除く) | 人 | 人 | | | | 人 | | 人 | | 人 |
| 用 |  | ⑦ 短時間労働者数(特定短時間労働者除く) | 人 | 人 | | | | 人 | | 人 | | 人 |
| 状 |  | ⑧　計　(⑥+⑦×0.5) | 人 | 人 | | | | 人 | | 人 | | 人 |
| 況 | Ｃ　企業全体の障害者である常用雇用労働者数（短時間労働者を除く）　　注１、注２ | | | | | | | | | | | |
|  |  | ⑨　重度身体障害者数 | 人 | | | 人 | | 人 | | 人 | | 人 |
|  |  | ⑩　⑨以外の身体障害者数 | 人 | | | 人 | | 人 | | 人 | | 人 |
|  |  | ⑪　重度知的障害者数 | 人 | | | 人 | | 人 | | 人 | | 人 |
|  |  | ⑫　⑪以外の知的障害者数 | 人 | | | 人 | | 人 | | 人 | | 人 |
|  |  | ⑬　精神障害者数 | 人 | | | 人 | | 人 | | 人 | | 人 |
|  |  | ⑭　その他の障害者数　　注４ | 人 | | | 人 | | 人 | | 人 | | 人 |
|  |  | ⑮　計（(⑨+⑪)×2+⑩+⑫+⑬+⑭ ） | 人 | | | 人 | | 人 | | 人 | | 人 |
|  | Ｄ　企業全体の障害者である短時間労働者数（特定短時間労働者を除く）　注２、注３ | | | | | | | | | | | |
|  |  | ⑯　重度身体障害者数 | 人 | | | 人 | | 人 | | 人 | | 人 |
|  |  | ⑰　⑯以外の身体障害者数 | 人 | | | 人 | | 人 | | 人 | | 人 |
|  |  | ⑱　重度知的障害者数 | 人 | | | 人 | | 人 | | 人 | | 人 |
|  |  | ⑲　⑱以外の知的障害者数 | 人 | | | 人 | | 人 | | 人 | | 人 |
|  |  | ⑳　精神障害者数 | 人 | | | 人 | | 人 | | 人 | | 人 |
|  |  | ㉑　その他の障害者数　　注４ | 人 | | | 人 | | 人 | | 人 | | 人 |
|  |  | ㉒　計（⑯+⑱+⑳+(⑰+⑲+㉑)×0.5） | 人 | | | 人 | | 人 | | 人 | | 人 |
| Ｅ　企業全体の障害者である特定短時間労働者数　　注３ | | | | | | | | | | | |
|  | ㉓　重度身体障害者数 | 人 | | | 人 | | 人 | | 人 | | 人 |
| ㉔　重度知的障害者数 | 人 | | | 人 | | 人 | | 人 | | 人 |
| ㉕　精神障害者数 | 人 | | | 人 | | 人 | | 人 | | 人 |
| ㉖　計（（㉓+㉔+㉕)×0.5) | 人 | | | 人 | | 人 | | 人 | | 人 |
| Ｆ　雇用障害者数  　　合計　（⑮＋㉒＋㉖） | | 人 | | | 人 | | 人 | | 人 | | 人 |
| Ｇ　障害者雇用率  　　（Ｆ／Ｂ×100）　　注５ | | ％ | | | ％ | | ％ | | ％ | | ％ |
| Ｈ　企業全体の障害者である常用雇用労働者数の採用状況  （うち重度障害者） | | 人  （　　人） | | | 人  （　　人） | | 人  （　　人） | | 人  （　　人） | | 人  （　　人） |
|  | | |  | |  | |  | |  |
| Ｉ　企業全体の障害者である常用雇用労働者数の離職状況  （うち重度障害者） | | 人  （　　人） | | | 人  （　　人） | | 人  （　　人） | | 人  （　　人） | | 人  （　　人） |
|  | | |  | |  | |  | |  |

（注１）　常用雇用労働者とは、１週間の所定労働時間が20時間以上で次のいずれかを満たす者をいう。

ア　雇用期間の定めなく雇用されている労働者

イ　一定の雇用期間を定めて雇用される労働者であって、雇用期間が反復更新され、過去１年を超える期間について引き続き雇用されている労働者

ウ　雇入れの時から１年を超えて引き続き雇用されると見込まれる労働者

（注２）　短時間労働者とは、１週間の所定労働時間が、当該事業所に雇用する常用雇用労働者の１週間の所定労働時間に比べて短く、かつ、30時間未満である常用雇用労働者をいう。

（注３）　特定短時間労働者とは、１週間の所定労働時間が10時間以上20時間未満であり、かつ、（注１）アからウのいずれかを満たす者をいう。

（注４）　その他の障害者とは、発達障害者、高次脳機能障害者、難病を有する者（身体障害者手帳（等級が１級から６級及び７級に該当する障害が２つ以上の場合を除く）、療育手帳又は精神障害者保健福祉手帳の交付を受けている者を除く）等をいう。

（注５）　小数点以下第２位以下を切り捨てた数を記入すること。

(5)　労働条件について

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
| 労働条件 | 労働時間 | 時間　　　　分／日 |
| 休　　　　　　日 | 日／年 |
| 年間所定労働時間 | 時間 |
| 有給休暇 | 日／年 |
| 定年 | 歳 |
| 定期健康診断 | 回／年 |
| 社会保険 |  |

(6)　障害者雇用の取組状況

|  |  |
| --- | --- |
| 調　査　項　目 | 状　　　況 |
| ①　障害者雇用の経緯、きっかけ |  |
| ②　障害者雇用に関する取り組み、  　　雇用継続のための工夫  　（例）  ・会社生活や業務についての相談担当者の配置  ・施設のバリアフリー化や障害者雇用支援機器の導入  ・障害者に配慮したコミュニケーション、情報の共有化  ・業務に関する教育や研修  ・適正、希望に応じた職場配置 |  |
| ③　今後の雇用計画について |  |
| 1. その他障害者の雇用に関する特   　徴的な取り組み  （例）  ・職場実習や訓練の積極的な受入れ  ・授産施設等の製品の積極的な購入  ・障害者の就労に役立つ機器やシステムの開発 |  |

※できるだけ詳細に記入してください。